

英検2級 診断レポート

事前ヒアリング内容を踏まえた学習方針と具体的な取り組み案

現状の課題：「力が足りない」のではなく「やり方が違う」

リスニングが「当てる練習」になっている
内容を理解せず、聞こえた単語を振りに選択肢を選んでしまっている状態。

過去問が「やりっぱなし」になりがち
解き直しや振り返りが薄く、学習が積み上がっていない。

解決策

最初に解かない！リスニング学習の正しい4ステップ

- 1. 読む**
まずスクリプトを読み、文字なら完全に理解できる状態にする。
- 2. 音読**
素味を意識しながら、内容が頭に入るまで音読を繰り返す。
- 3. シャドーイング**
音声に少し遅れてついていき、意味が離れないようにする。
- 4. 解く**
最後に問題を解く。内容を複数に選んでいるか確認する。

なぜ「3級」からやり直すのか？
簡単な英文で「正しい手順」を無理なく体験し、成功パターンを身につけるため。

単語・ライティングは「維持」する意識でOK
リスニングに集中するため、他の学習は負担の少ない方法で解続する。

NotebookLM

はじめに

このレポートは、事前にご記入いただいたヒアリング内容と、これまでの学習状況・試験結果をもとに、現在の立ち位置を整理し、今後どのように学習を進めていくとよいかをまとめたものです。
いわゆる「できていないところ探し」をするためのものではありません。

むしろ、

- すでに積み上がっている力はどこか
- うまく噛み合っていない部分はどこか
- そこをどう整えれば、無理なく前に進めるか

この3点を、できるだけ分かりやすく言語化することを目的としています。

全体を通して見ると、今は「力が足りない」というよりも、「学び方の順番が整理されていない」状態に近いと感じられます。

その順番を整えるだけで、学習の手応えや見え方は大きく変わってくるはずです。

1 事前ヒアリング内容の整理

まずは、事前に共有いただいた内容を整理します。

基本情報

- ・お名前:田中 花
- ・ふりがな:たなか はな
- ・学校名:○○中学校
- ・学年:中学3年
- ・性別:女性

英検に関する状況

- ・合格済みの級:英検準2級
- ・目標級:英検2級

英検を受ける目的としては、高校入試、その先の大学入試を見据えて、英語を安定した得意科目にしたいという思いがありました。

単に資格として取るだけでなく、今後の学習や進路にもつながる形で英語力を高めたい、という意識が感じられます。

これまでの英語学習歴

学校の授業と塾での学習が中心で、特別に長期の留学経験などはありません。

単語学習は取り組んでいるものの、復習が続かず、覚えたつもりでも定着しきらない感覚があるとのことでした。

リスニングについては、これまで「聞き流し」に近い形で取り組むことが多く、「どういう順番で、何を意識して練習すれば力がつくのか」は、あまり整理されていなかったようです。

このタイミングで指導を受けたいと感じた理由

解答速報を見て、合格点まで大きく離れているわけではないと分かった一方で、「では、何をどう直せばいいのか」が見えず、不安が強くなった、という点が挙げられていました。

これは、とても自然な感覚です。

むしろ、ここで立ち止まって整理しようとしている点に、前向きさと誠実さを感じます。

現在の学習状況

- ・平日:30~60分程度
- ・休日:90分前後

学習時間自体は、決して少なすぎるわけではありません。

ただし、やる内容がその日ごとにぶれやすく、「これで合っているのかな」という不安を感じながら進めている様子が見受けられます。

過去問には取り組むものの、解き直しや振り返りが浅くなりがちで、やりっぱなしになってしまふことが多いとのことでした。

英検学習における悩み

- ・リスニングが「塗っているだけ」の感覚になっている
- ・Readingも自信をもって選べない問題が多い
- ・学習の優先順位が分からず、迷ってしまう

特にリスニングについては、「聞こえていない」というより、「何を手がかりに解けばいいのか分からない」という感覚が強そうです。

使用教材

- ・でた単(準2級・2級)
 - ・英検2級 過去問
-

2 全体像の診断

まず、はっきりお伝えしたいのは、基礎的な力が足りていない状態ではないということです。

実際、

- ・Writingは比較的安定している
- ・英語に触れる習慣もある
- ・合格まで大きく離れているわけではない

こうした点から見ても、土台はすでにあります。

一方で、ReadingとListeningについては、力が伸びにくいやり方のまま、レベルだけが上がりすぎてしまった印象があります。

これは珍しいことではありません。
多くの学習者が、準2級から2級に進むあたりで、同じ壁にぶつかります。

3 リスニングの現状について

今のリスニングはどんな状態か

リスニングについては、「聞いて理解して解いている」というより、選択肢を見ながら、なんとなく塗っている感覚が強い状態だと考えられます。

重要なのは、これは能力不足ではない、という点です。

おそらく、

- ・準2級以前から
- ・正しい学習手順を体験しないまま
- ・問題演習だけが先行してきた

その結果として、今の状態が生まれています。

つまり、今やるべきことは、
「もっと聞く」ことではなく、
学び方を一度、整理し直すことです。

4 リスニング学習の基本的な考え方

リスニング力がきちんと身につく学習には、はっきりした順番があります。

それは次の4段階です。

- 1 読んだら解ける状態を作る
- 2 音読する
- 3 シャドーイングする
- 4 最後に問題を解く

この順番を飛ばしてしまうと、
どうしても「当てる練習」になってしまいます。

逆に言えば、この順番さえ守れば、
リスニングは「感覚の問題」ではなく、
積み上げていける技能に変わります。

5 なぜ3級からやり直すのか

今回の状況では、3級レベルからリスニングをやり直すことは、とても理にかなっています。

3級の英文は、

- ・文構造がシンプル
- ・語彙も基本的
- ・内容も追いやすい

そのため、

「読めば分かる」
「音読すると意味がつながる」
「シャドーイングしても置いていかれない」

この感覚を、無理なく体験できます。

ここで、「あ、こういう順番でやればいいんだ」と分かることが、その後の準2級・2級につながっていきます。

6 リスニングの具体的な進め方

使用する過去問の分量

- ・英検3級 過去問 1回分
- ・英検準2級 過去問 3回分
- ・英検2級はパート別に演習

2級については、次のように分けて進めます。

- ・Part1 を連続して3回
- ・Part2 を連続して3回

形式を混ぜず、同じパートを続けることで、
「このパートでは、ここを聞けばいい」という感覚が育ちやすくなります。

1セットの学習手順

ステップ1 読んだら解けるか確認する

まず、音声は使いません。

スクリプトを読み、設問と選択肢を見て、根拠をもって答えられるか確認します。

ここで詰まる場合は、

- ・単語が分からない
- ・文の構造が取れていない
- ・話の流れが追えていない

いずれかが原因です。

この段階で丁寧に処理することが、後の効率を大きく左右します。

ステップ2 音読

意味を意識しながら、3~5回程度音読します。

速さは気にせず、内容が頭に浮かぶことを大切にしてください。

ステップ3 シャドーイング

音声を聞きながら、少し遅れて声に出します。

完璧に追えなくて構いません。

意味が置いていかれないことを重視します。

ステップ4 問題を解く

ここで初めて、問題を解きます。

「聞こえた単語」ではなく、「内容」で選べているかを意識します。

7 単語学習について

単語については、でた单を軸に進めるのがよいでしょう。

基本方針

- ・毎日20分を最低ライン
- ・最初の1周はスピード重視
- ・分からぬ単語には印をつける

完璧に覚えてから次へ進む必要はありません。

「進みながら回収する」意識の方が、結果的に定着します。

2級の英文が読みにくい、聞きにくい状態が続く場合は、
準2級レベルに戻って穴を埋めるのも有効です。

8 Writingについて

Writingは、今の段階では「伸ばす」より「維持する」意識で十分です。

週1回程度書き、次の順番で見直すだけでも、安定感は保てます。

- ・スペル
- ・冠詞
- ・単数複数
- ・三单現
- ・時制
- ・前置詞

毎回同じ順番で確認することで、ミスは自然と減っていきます。

9 学習の組み立て例

平日(30~60分)

- ・でた单 20分
- ・リスニング スクリプト読み 15分
- ・音読またはシャドーイング 10分

休日(90分)

- ・でた单 40分
 - ・リスニング 1セット 45分
 - ・余裕があれば Writing 20分
-

10 おわりに

今回の診断で一番お伝えしたいのは、
「今の状態は、修正可能で、しかも伸びやすい段階にある」ということです。

特にリスニングは、
順番を整えるだけで、見える景色が大きく変わります。

焦らず、順序を守って、一つずつ積み直していきましょう。
その積み重ねは、必ず結果につながっていきます。